

仙台市長 郡 和子 様

## 女川原発2号機の再稼働に係る要望書

常日頃仙台市民のためにご尽力いただき、ありがとうございます。とりわけ新型コロナウイルス対策にお骨折りいただき、感謝いたします。

ところで、女川原発2号機再稼働問題がひっ迫しております。宮城県は7月29日「女川原子力発電所2号機の安全性に関する検討会」を終了させ、8月1日から19日まで女川町・石巻市など女川原発周辺7カ所で国の機関（原子力規制委員会・内閣府）を呼んで「住民説明会」を行っています。新型コロナ感染拡大の状況下にあつて、説明会への住民の参加は少なく、コロナ対策上急がず延期をの聲がでて、宮城県は延期せず強行しています。

説明会終了後の焦点は、宮城県知事が「宮城県議会」および「各市町村長」の「意向」をうかがうことです。村井嘉浩宮城県知事はことあるごとに各市町村長の意見を聞くとし、6月22日の国の原子力防災会議が避難計画を了承した際も、「まずは住民説明会を開き、市町村長や県議会の意見を聴取する」と述べています。

村井知事が市町村長会議などで首長の意見聴取をされた場合、仙台市は仙台市民の安全性の検証なしに女川原発再稼働を容認する立場にはないことを伝えていただくよう要望いたします。

以下、理由を述べます。

### 1、仙台市は、重大事故があつた場合、避難者を受け入れることができない

仙台市は、女川原発で重大事故があつた場合、石巻市および東松島市から避難民を受け入れることになっています（石巻市から40605人、東松島市から24200人）。6月19日、仙台市議会でのいのまた議員の質問に答えた仙台市危機管理監は「新型コロナウイルス感染対策をとつた場合の避難の受け入れは、当初受け入れ予定の3割～4割になるものと想定」と、答弁しています。このように仙台市はコロナ禍のなか、当初の想定人数を受け入れることはできないことを認めています。

また、7月8日の仙台市と「脱原発仙台市民会議」など市民との交渉の場で、防災計画課長は「宮城県が原発防災の避難計画についてのコロナ対策ガイドラインを作成したら、避難元のUPZ自治体が避難計画の変更に着手する。その変更を受けて、避難受け入れ側の仙台市が対応変更の有無を検討する」と回答しています。

つまり、コロナ感染拡大が続く現在、女川原発が再稼働するにあたって必要不可欠な「コロナ対策を含む重大事故時の住民の安全な避難計画」が作られておらず、このままでは大混乱に陥ることは間違いありません。

### 2、仙台市民を守ることができない

女川原発再稼働にあつては、福島事故の教訓を生かすことが、自治体・住民ともに求められます。福島事故の場合、30kmをこえて放射能が拡散されたことを想起しなくてはなりません。また、福島事故が東日本大震災の地震・津波により引き起こされたことから、複合災害としての原発事故に備えなくてはなりません。

しかし、仙台市の「地域防災計画」では、「地震・津波災害対策編」と「原子力災害対策編」は別物として取り扱われ、複合災害への備えとなっておりません。原子力災害対策としては避難所を設けず、「屋内退避」を基本にしていますが、複合災害が起こったときは、仙台市民のために避難所を開設しなければなりません。それに加えて、先に述べた、他地域からの避難者の受け入れについても、仙台市はその避難所の運営については「市は、避難所を開設し避難者を受け入れる。…市は、避難初期の段階については避難所の運営を主体的に担うが、避難元自治体の体制が整い次第、避難所の運営を避難元自治体に引き継ぐ」（「原子力対策編」p61）とし、初期段階では仙台市が避難者の運営に携わる

ことが記載されています。

加えて、コロナ対策も必要となると、もはや複合災害に備えることは不可能といっても過言ではありません。このような状況で、女川原発の再稼働を認めることは、市民の安心・安全を守る自治体の責任としてできないのではないのでしょうか？

### 3、仙台市民の意見を聞く場がない

村井知事が郡市長に、再稼働の是非について意見を求められた場合、郡市長は何を判断基準にするのでしょうか？ 当然、仙台市民がどのように考えているのかを参考にすべきです。

昨年2月村井県知事に提出された「県民投票条例」を求める直接請求署名では、仙台市民分として44,646筆（有権者の5%）もの数が集まり、再稼働に対する市民の関心の高さが示されました。しかし、この「県民投票条例」の制定は県議会で否決されてしまいました。そのため現状では、仙台市が市民に意見を聞く場がありません。ぜひそのような場をつくっていただきたいと思います。

以上、郡市長におかれましては、このような現状で女川原発の再稼働に賛成する状況にはないことを村井知事にお伝えいただくことを要請いたします。

〈共同提出団体〉

- ・脱原発仙台市民会議（共同代表 篠原弘典 水戸部秀利）
- ・原発いらない・宮城ツユクサの会（代表 松原くに子）
- ・シニア・ワーカーズコープ仙台（代表 森田真理）
- ・希望あふれる仙台をつくる太白区民の会（共同代表 西沢晴代 阿部重憲 榎森進）
- ・子どもたちを放射能汚染から守り、原発から自然エネルギーへの転換をめざす女性ネットワークみやぎ（共同代表：小澤かつ 児玉芳江 佐藤郁子 村口喜代 山田いずみ）
- ・日本キリスト教団東北教区放射能問題支援対策室いずみ（代表 室長 保科 隆）
- ・ともに市政をつくる仙台市民の会（会長 新里宏二）
- ・みやぎ脱原発・風の会（事務局長 舘脇章宏）
- ・みやぎ金曜デモの会（代表 西新太郎）
- ・カトリック正義と平和仙台協議会（代表 木元範子）
- ・原発問題住民運動宮城県連絡センター（共同代表 斎藤信一 小林立雄）

（連絡先） 仙台市泉区北中山3丁目17-12 広幡 文 電話 070-2010-3777

メール hirohata3777@outlook.jp